

# 大阪大学核物理研究センター研究計画検討専門委員会 会議事録(案)

日時: 令和5年10月2日(月) 13:00 - 17:00

場所: 大阪大学核物理研究センター本館2階会議室とZOOMを利用したハイブリッド会議

## 出席者

- センター長: 中野貴志
- 委員: 銭廣(京大)、小沢(KEK)、坂口(九大)、三輪(東北大)、鈴木(理研)、本多(KEK)、宇都野(原研)、緒方(九大)、田島(名大)、後藤(新潟大)、渡辺(理研)、西尾(原研)、佐久間(理研)、青井(RCNP)、民井(RCNP)、大田(RCNP)、福田(RCNP)、吉田(RCNP)
- 研究会・プロジェクト申請: 梅原(RCNP)、鈴木(理研)、本多(KEK)、佐久間(理研)
- 報告者・オブザーバー: 保坂(RCNP)、今井(東大CNS)、神田(RCNP)、梅原(RCNP)

## 報告

### 一般報告(センター長)

- 特任助教人事2件について報告があった
- 令和6年度予算についての報告があった
- 概算要求・補助金申請についての報告・紹介があった
- OUマスタープラン実現加速器事業新規申請についての報告があった
- 外部連携について各種報告があった
  - 高エネルギー加速器研究機構・物質構造研究所に核物理研究センター分室が設置された
  - 理化学研究との共同研究契約「レーザー電子光ビームを用いたストレンジ核物理」が締結された
  - 大阪大学福島キャンパス構想が進んでいる
  - めばえ適塾の自走化にむけて企業スポンサーを募集している
  - 福島国際研究教育機構(F-REI)の公募事業令和5年度「加速器を活用したRIの安定的かつ効率的な製造技術の開発」への応募を核物理研究センターを幹事機関とするコンソーシアムが検討している
- Sprint-8 BL33LEPビームラインでのR&D再開についての報告があった
- ロードマップへの計画申請についての報告があった

### 加速器報告(福田)

- 4月から9月までのサイクロトロン運転状況が報告された。
  - 4月から7月にかけて6件の共同利用実験が行われた
  - 7月に1件の共同研究実験が行われた
  - 7月に2件の教育用ビームタイムが行われた
  - At-211製造のコミショニングが行われた
  - RI製造について短寿命RI供給プラットフォーム2件を含む、8件の製造実験が行われた

- 10月から3月までの予定が示された。現状では11月以降の共同利用実験のスケジュールは未定である。
- 電気代高騰の影響について質問があり、11月以降のビームタイムのため資金を確保する努力を続けている旨の回答がセンター長よりあった。
- 変更申請についての質問があり、数倍程度までビームを増やす申請の検討を進めている旨の回答が福田氏よりあった。

## COREnet報告(保坂)

- COREnetの趣旨説明があった
- 今年度の審査結果についての報告があった。9件の申請に対して、5件の採択が認められている。
- 審査およびその改善方針の説明があった
- 今年度分は終了し、次回は来年度となる。

## Q-PAC報告(佐久間)

- 2023年度第1回の報告があった
- LEPS全体報告に続き、各プロジェクトの報告・答申が紹介された。
- 次回は2024/02/22に開催される予定である。

## 研究会報告(大田)

- 令和5年度前期に開催された研究会の報告文書が提示された

## 審議

### RCNP次期計画について(今井)

- 次期計画検討小委員会の趣旨について説明があった
- 前回のP-PACから5回の小委員会が開催され、答申案の作成を進めている
- 引き続き今井小委員会委員長のもとに答申案の年度内完成をめざしていただく

### 研究会審議(大田)

- 二重ベータ崩壊核行列要素に関する実験理論合同研究会
  - 意義をみとめ研究会として採択する
  - 採択額は若手研究者への補助分のみとする
- 計測システム研究会 2023@RCNP ~計測システム開発の現状と今後の展開~
  - 意義をみとめ研究会として採択する
- 大型ガンマ線分光装置で挑む核構造フロンティア(gamma24)
  - 意義をみとめ研究会として採択する
  - 採択額については条件つきとし、会場費については免除されるよう努力をもとめる
  - 免除された場合については会場費は採択額から除外する

- 4th International Workshop on the Extension Project for the J-PARC Hadron Experimental Facility (HEF-ex 2024)
  - 研究会として採択する
  - 採択額は全体のバランスを考えて減額する

## KKProject-003 答申案(小沢)

- 答申案が示された
- 委員への回覧の後、採否を取ることにする

## B-PACプロポーザルのページ制限について(青井)

- 次回、公募分より、本文を約10ページ以内とし、詳細については付録としての記述を求めることとする。
- 実現可能性の判断に必要な詳細は省かず、本文に収まらない場合には付録に記述してもらうことを強く要請する。
- 公募文面については施設ならびに B-PAC 幹事で議論し、速やかに公募を開始してもらう
- プロポーザルの内容構成について事前にガイドラインを設けることが提案され、その原案を施設ならびにB-PAC幹事にて作成、次回の委員会で議論することとなった

## B-PACの開催予定について(青井)

- 実施・計画済みビームタイムおよび積み残しと見通しについて説明があった
  - ビーム強度が増えることによる効果を考慮すると現状は通常状態とみなせる
  - 来年度以降もアップデート以前の消化日数が見込める
- 次回 B-PAC での採択日数について 20~30日の提案があり、認められた
- B-PACを今年度中に開催することで合意した

## 研究会の公募文面・報告書の更新(大田)

- 研究会の公募文面および報告書の内容について議論がなされた
- 採択基準にそった公募文面となるよう更新し、次回の公募より適用すべき引き続き議論することとなった

## 前回議事録承認(大田)

- 前回の議事録について承認された